

共催：杉並区教育委員会
2025年度後期杉並区内大学公開講座

東 西 南 北

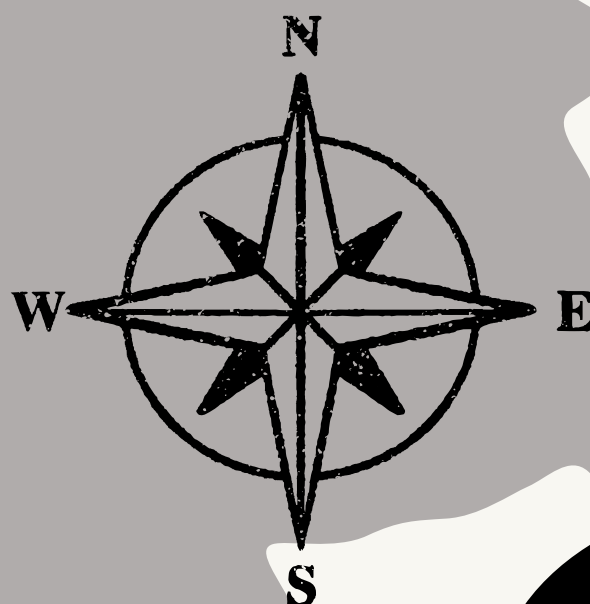
で理解するドイツ史

10/24・31

11/14・21

(各回 金曜日)

14:55-16:25



講師：柳原 伸洋

人文学科

歴史文化専攻 教授

会場 23号館 1階 23101教室

受講料 無料

定員 150名

対象 一般（社会人・卒業生・教職員）・学生

※抽選の場合は区民優先

申込締切 10月16日（木）

お申込み 詳細・お申込みはこちらから↓→



https://www.twcu.ac.jp/main/event/2025/1024_01.html

お問い合わせ

東京女子大学 教育研究支援課

E-mail:koukaikouza@gr.twcu.ac.jp

TEL:03-5382-6470

月～金（祝日を除く）9:00～11:25、12:25～17:00

閉室日：土・日、祝日



Tokyo Woman's Christian University

東京女子大学

講座紹介

「ドイツ」は近現代史において重要な役割を果たしてきました。近代日本が諸制度のモデルとしたドイツ。二度の世界大戦の敗戦国となったドイツ。戦後は東西に分断されつつも経済大国となったドイツ。そして現在、ドイツは様々な問題を抱えつつも国際社会で存在感を放っています。本講座では、「東西南北」の視点を導入して歴史学によって「ドイツ」を解剖してみます。まず東西南北のたどった歴史的経緯を押さえます。次に、南北を「統一」しようとしたドイツ帝国、東西南北の差異を「差別・排除」で解消しようとしたナチ・ドイツ、そして東西に分断されたドイツについて考察しようと思います。最後に、現代ドイツが抱える諸問題についても歴史の観点から考える予定です。

講座スケジュール

第1回
10/24 (金)

「東西南北」とドイツ史の偶然・必然

ドイツ史を、プロイセンやバイエルンなど「東西南北」の観点から考え、その基本的な特徴を押さえます。

第2回
10/31 (金)

「南北」の統一？ ―ドイツ帝国からナチズムまで

ドイツ帝国、ヴァイマル共和国、そしてナチ・ドイツをカトリックとプロテスタントなどの「南北」の観点から考えます。

第3回
11/14 (金)

「東西」の分断？ ―東西ドイツの成立と崩壊

第二次世界大戦後に成立した東西ドイツの歴史について考えます。西独の特徴や東独の崩壊理由などを扱います。

第4回
11/21 (金)

「東西」の統合への長い道のり ―格差と極右問題

統一後ドイツが抱える諸問題（格差や排外主義・極右など）について歴史学の視点から考えます。

講師プロフィール

講師：柳原 伸洋

人文学科 歴史文化専攻 教授

■経歴

北海道大学、東京大学大学院、ポツダム大学、そしてハレ大学などで歴史学を学ぶ。在ドイツ日本大使館専門調査員などを経て、現職。アウクスブルク大学客員研究員（2019-2023年）。NHKラジオ・ドイツ語講師および日独協会ドイツ語講師。筆名、伸井太一としても活動。

■現在の研究・関心

20世紀の戦争の社会史、とくにドイツと日本の空襲・空爆の歴史。ドイツの文化・政治・社会、とくに製品史など。

■主な著書共著

『教養のドイツ現代史』（ミネルヴァ書房）、『日本人が知りたいドイツ人の当たり前』（三修社）、共編著に『ドイツ文化事典』（丸善出版）、共訳・監訳にジェーム・ホーズ『超約 ドイツの歴史』（東京書籍）など。筆名では共著『笑え！ドイツ民主共和国』（教育評論社）、『第二帝国ドイツ』（パブリブ）など多数。

アクセス

■西荻窪駅

- ・北口より徒歩12分
- ・北口（1番のりば）より吉祥寺行バスで「東京女子大前」下車

■吉祥寺駅

- ・北口（3番のりば）より西荻窪駅行バスまたは上石神井駅行バスで「東京女子大前」下車

